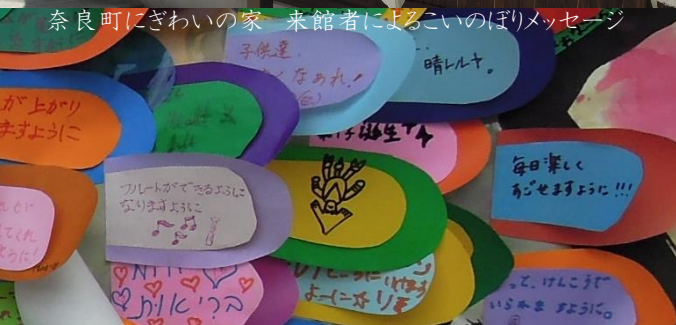




軒菖蒲



奈良町にぎわいの家 来館者によるこいのぼりメッセージ



奈良町にぎわい通信

Vol.48

二〇一九・清明〜穀雨

発行
奈良町
にぎわいの家





奈良町にぎわいの家 3月のイベントから



文
主任
久保 清子 さん



奈良町絵図(江戸時代中期)

●施設紹介

奈良市史編集の機会に収集した、古文書や絵図などを中心に、歴史資料の整理・保管・活用を行う奈良市の施設として平成4年に開館しました。古文書や絵図などを通して、いろいろな角度から奈良町の歴史情報を発信しています。中庭には元興寺の鐘楼のものとみられる奈良時代の礎石も展示、奈良町散策のスタートに、また休憩にも、気軽に奈良町の歴史にふれることができる施設です。

●歴史資料を公開する施設として

- ①企画展示…年4回、史料を活用して奈良町の歴史を新たな切り口で紹介。町の記録や行事、信仰、名産品など暮らしの息吹が史料から伝わる展示です。
- ②特別陳列…月替わりで奈良町の年中行事や風物詩にまつわる史料を紹介する「ならまち歳時記」などのコーナーを設けています。
- ③奈良町歴史ミニ講座…古文書や古絵図に親しんでもらうため、展示室内で第4土曜日の午後1時半から保管史料を使ってわかりやすく解説しています。
- ④子ども向け企画…GW、夏休み、ならまちわらべうたフェスタの機会に展示品を見て考えるクイズ形式のワークシートを用意。大人も楽しめる企画です。
- ⑤出張展示…奈良町にぎわいの家で年4回開催、実物史料の解説もします。
- ⑥解説付ガイドツアー…年4回、館員による解説付きの展示見学と、展示テーマゆかりの地をガイド(朱雀の会)の解説で巡ります。

●未来へ継承するために

当館では、自治会や個人からの寄贈や寄託を受けた奈良に関わる歴史資料を、収蔵庫で大切に保管しています。また、市内の文化財研究団体と連携して調査を行うなど、奈良の歴史を研究する活動もしています。古文書や古絵図に書き遺された事柄からは、先人たちが大切に守り伝えてきたものは何かを知ることができます。史料を通して町の歴史の大切さが知られ、次世代へとそれが受け継がれることを願っています。

●開館時間

9:00～17:00

(入館は16:30まで)

●休館…月曜日

(その日が祝日の場合は翌日)

●入館料…無料

●連絡先 〒630-8337

奈良市脇戸町1-1

TEL 0742-27-0169

史料保存館出張展示企画「タイムトラベル奈良町」

史料保存館の史料を町家の座敷で身近に鑑賞できる企画、「タイムトラベル奈良町」も4年目となり、次回開催、6/16「古地図をみる」で12回目となります。

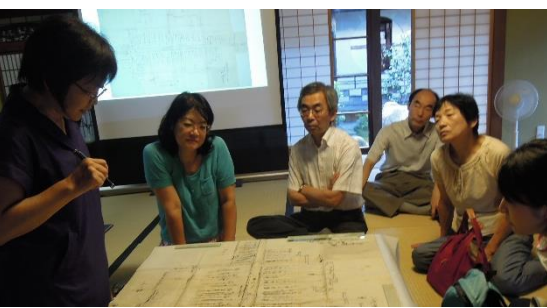
第1回は、当館の所在地に伝わる「中新屋町町絵図」

(江戸時代・天保6年)の鑑賞と解説でした。実際の絵図を見て、町の区割りそのものが、現在もほぼ変わっていないことを実感、昔ながらの空間が今も息づいている町なのだと改めて感じました。また、手書きの地図ならではのリアルな感触も、こうした企画ならではの。

第2回目の「奈良暦」は、当館のテーマでもある「二十四節気」と密接なテーマ。この近くの陰陽町で暦を作っていた陰陽師の話や、実際の奈良暦も見せていただきました。当時の人が、地震や天気の名書きのような筆記を残しているのが、とてもリアル！で妙に感動したのを覚えています。史料は過ぎた時間と呼び起こしてくれ、まさにこの町の「物語」の宝庫！「タイムトラベル奈良町」の後は

史料保存館へ。
奈良町はこのように複数の施設を一度に鑑賞できるのも魅力の一つ。皆さん、是非、お越し下さい。

(おの・こまち)



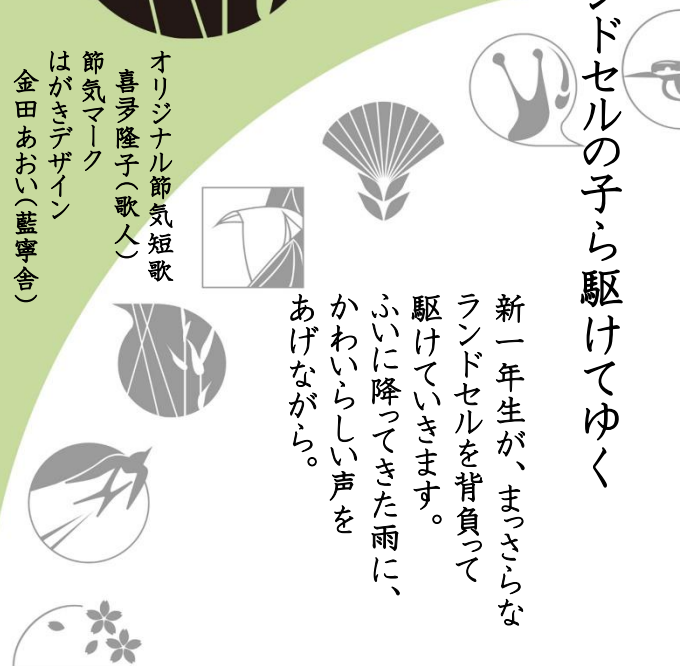
奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～穀雨～



オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

まっさらなランドセルの子ら駆けてゆく
ふいの穀雨に
声あげながら

新一年生が、まっさらな
ランドセルを背負って
駆けていきます。
ふいに降ってきた雨に、
かわいらしい声を
あげながら。



事務局だより

2019
穀雨

雨の恵み

事務局長 藤野正文

4月は年度替わり、学校・学年、人事の替わりなどがあり、電車の中で新入生、新入社員らしき初々しい姿を見ると、自分自身に変化がなくても晴れやかな気持ちになり、心機一転で新たなことでも始めようか、と考える季節です。

季節も穀物の成長を助ける雨が降る「穀雨」(四月二十日)から、緑が生い茂る「立夏」(五月六日)になります。

この時期の雨は、穀物の成長に非常に大切な恵みの雨であり、さまざまな名前前で呼ばれているようです。慈雨(じう)、瑞雨(ずいう)、春霖(しゅりん)、菜種梅雨(なたねづゆ)、催花雨(さいかう)と言われています。また、万葉集などの古典でも「雨」を「小雨(こさめ)」「春雨(はるさめ)」「氷雨(むらさめ)」「長雨(ながめ)」「時雨(しぐれ)」「夕立」「五月雨(さみだれ)」など細かく分けられているようです。日本は世界でも降水に恵まれた所で、雨にさまざまな名前をつけて雨を楽しむ、日本語・古来の日本人の感性の豊かさに感心するばかりです。

スマホで雲の動きがすぐにわかるけれど、今の雨はなんと言う？町家の軒先で雨音を聞きながら、しばし雨宿りをするのもたまにはいいのでは。



なんてチャーミングな鍾馗さん

蔵展示「奈良町ノスタルジィ」 ～街角の珠玉の風景と言葉～

奈良まちづくりセンター発行の「町家くん通信」2年間の表紙を飾った絵と文、24枚を展示。うとうとSN(野村修二)さん作。町の風景を切り取るセンスの良さ&温かいコメントが奈良町愛に満ちた展示。お客様もゆっくり鑑賞、この町の素敵なスポットを沢山知ったことでしょう。

まさに「清明」の風景



スタッフは着物姿でおもてなし。



絵手紙、大盛況！



皆さん、お辞儀も中々！

元タカラジェンヌ、水墨画も美しい！

当館スタッフによる
気軽な体験講座、開催中！

奈良町にぎわい通信vol.48

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家

9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917
nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



清明



穀雨

4/5~19 4/20~5/5

菖蒲の根枕辺に置き睡るかな
鬼瓦重き山の夜更けて

前登志夫